

SDGsとは

2015年9月の国連「持続可能な開発サミット」において『我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ』を採択



「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、人間・地球・繁栄のための行動計画として宣言及び目標を掲げた

2030年を期限とする17の国際目標と169のターゲット、230の指標で構成

包摂性 (インクルーシブ)
社会的に弱い立場にある人々も含めて、一人ひとりを排除や孤立から守り、社会(地域社会)の一員として取り込み、支え合う考え方



国の動向

SDGs実施指針(H28.5月決定)における自治体の役割

全国的な実施には、全自治体及び地域で活動する関係者による取組推進が不可欠

自治体の各種計画に、SDGsの要素を最大限反映することを奨励

省庁の施策等を通じ、関係者との連携強化等、目標達成に向けて取組を促進

自治体SDGs推進のための有識者検討会(H29.6月設置)のねらい

地方創生を効果的に進めるため、自治体におけるSDGsの浸透・主流化は重要な要素

地方創生における自治体SDGsの取組推進に当たっての基本的考え方の整理及び施策の基本的方向を提言することがねらい

指定都市の取組状況(H30.5月時点)

推進体制の設置状況

- ・設置済 4市:静岡市、京都市、岡山市、北九州市
(例 静岡市:創生・SDGs推進会議)
- ・検討中 9市:仙台市、横浜市、川崎市、千葉市、浜松市、大阪市、堺市、熊本市、相模原市
- ・設置予定なし 7市:札幌市、さいたま市、新潟市、名古屋市、神戸市、広島市、福岡市

総合計画への反映

- 横浜市、川崎市、静岡市
- SDGs未来都市、自治体SDGsモデル都市に選定(H30.6月/内閣府)
- ・未来都市:札幌市、横浜市、静岡市、浜松市、堺市、北九州市
- ・モデル都市:横浜市、北九州市